

令和5年度 博物館講座

博物館の展示内容の理解を深めて、楽しむための講座です。

◆場所：本館 整理工作室 ◆要申込(有料)

開催日	テーマ・講師	内容
5/20(土) ※21(日)	志戸呂焼体験 丸山成己氏(陶芸家)	しまはく恒例の志戸呂焼体験。今年は5月に開催。
7/30(日)	「築城450年記念 諏訪原城」展 企画展ツアー 岩崎アイルトン望(当館学芸員)ほか	諏訪原城について当館学芸員と楽しく学びましょう!
11/18(土) 13:30~15:00	原弘の造型思考(仮題)	昭和のデザイン界を牽引した原弘の業績を紹介。
1/13(土) 13:30~15:00	日本刀鑑賞初心者講座 曳地真澄(当館学芸員)	初めての方大歓迎、日本刀を実際に持って鑑賞します。
3月上旬	初めての着付け教室 しまだきものさんぽ	着付け教室を行います。意外と難しいかも?!

※志戸呂焼体験 午前の部 9:00~10:30、午後の部 13:30~15:00

注)詳細は、ホームページ等で後日お知らせします。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定が変更になる可能性があります。

団体見学ガイド

学校・団体向けに見学ガイドの予約を受け付けています。
詳しくは、お問い合わせください。

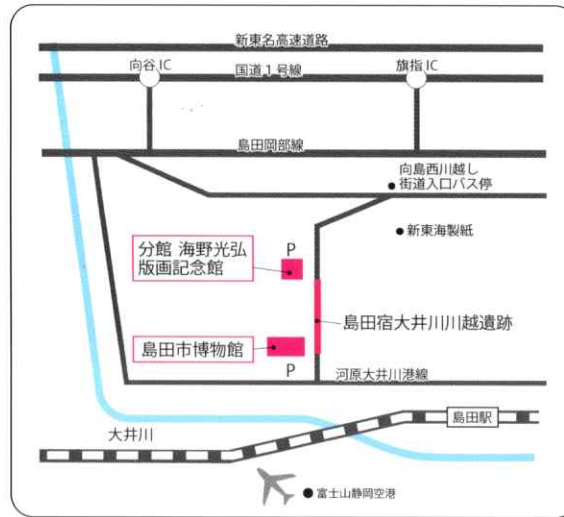
島田市博物館ボランティア

当館では、約20人のボランティアが、展示室の監視や簡単な案内、体験学習・イベントの補助などの活動で博物館をサポートしています。

国指定史跡

島田宿大井川川越遺跡

島田市博物館から東へ続く約300mの旧東海道には、旅人に川札を販売した川会所や川越人足の溜り場だった番宿が建ち並び、往時の家並みが復元されています。



ご利用案内

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日(祝日は開館、翌日休館)、年末年始

観覧料 一般300円 団体(20名以上)240円

※中学生以下無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介助者1名無料

交通アクセス

公共交通 JR島田駅北口より路線バス乗車5分

向島西川越し街道入口下車徒歩10分

車 国道1号線向谷ICまたは旗指ICより約5分

空路 富士山静岡空港より路線バス

島田市博物館 Shimada City Museum

〒427-0037 静岡県島田市河原一丁目5番50号

Tel.0547(37)1000 Fax.0547(37)8900

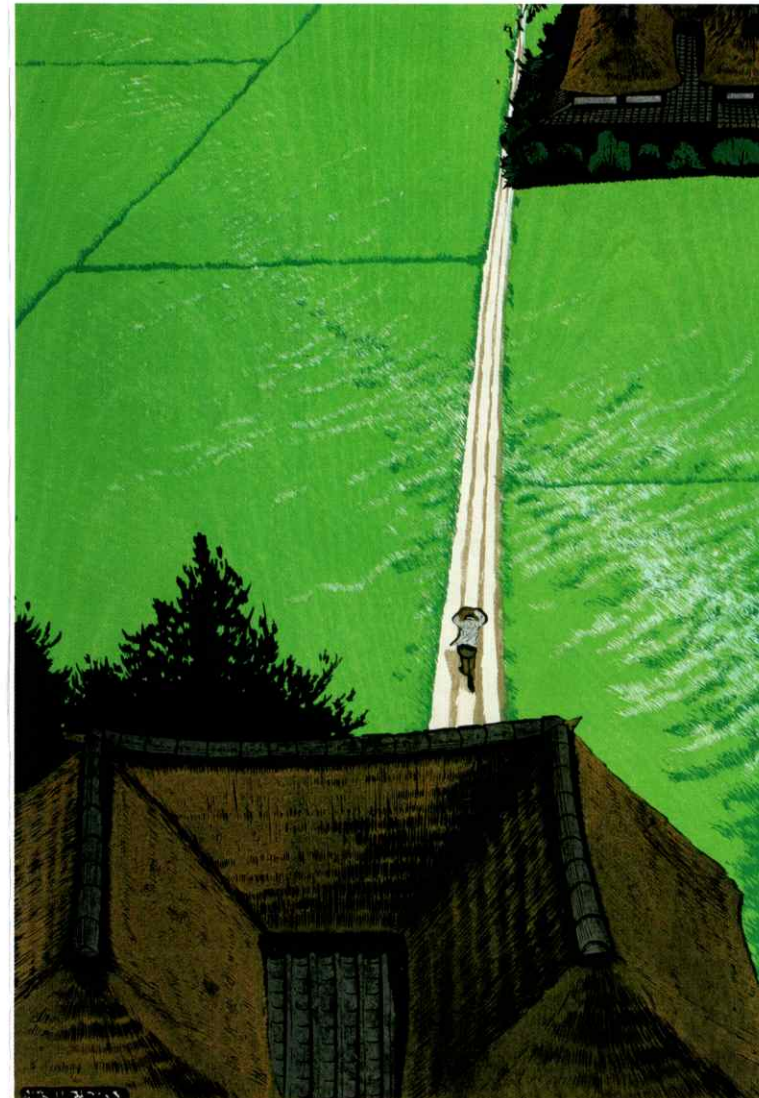
Eメール hakubutu@city.shimada.lg.jp

ホームページ・フェイスブック・インスタグラムで情報発信中



島田市博物館展示スケジュール

2023.4 - 2024.3



〔本館〕

収蔵品展
めし茶碗の彩りーむかし人の愛した文様ー

4月1日(土)ー6月18日(日)

毎日手にするお茶碗。コレクター今尾康壽氏により選び抜かれためし茶碗の、美しい文様に込められた思いや願いを通して、その魅力をご紹介します。



伊万里《染錦竹に雀文蓋付茶碗》19世紀

第91回企画展
築城450年記念 諏訪原城

7月1日(土)ー9月24日(日)

令和5年、築城450年を迎えた諏訪原城。武田・徳川が激戦を繰り広げた、戦国最強の山城の姿を様々な史料、文書から浮き彫りにします。



諏訪法性尺

第92回企画展
日本グラフィックデザインの曙光 原弘

10月7日(土)ー12月17日(日)

欧米のアヴァンギャルド芸術から学び、日本のデザイン界を牽引した原弘がデザインした、現在でも色褪せぬ魅力を持った書籍やポスターを展示します。



原弘関連資料

第93回企画展
レトロファッション ～しまだ着道楽～

1月13日(土)ー3月17日(日)

懐かしいようで新鮮なレトロでかわいい・カッコいい衣服や服飾品を展示します。服飾を通して当時の島田の様子をご覧ください。



《婚礼衣装》明治後期

〔分館 海野光弘版画記念館〕

収蔵品展
海野光弘 「あなた」と「私」ふたり展

4月1日(土)ー6月11日(日)

母と子、夫婦、兄弟、etc.…。ふたりが共に作業をしたり、語らったりしている温かな時と空間を表現した作品展です。誰と居た、どんな時間を思い出しますか？



海野光弘 《旧街道の軒》1972年

収蔵品展
海野光弘 いい絵を観るにはイスがいる！

6月17日(土)ー9月10日(日)

どうぞどうぞお掛けください。静岡の職人による素朴でやさしい椅子がお待ちしています。お気に入りの作品を、時間をかけてゆっくり鑑賞いただく展示です。



海野光弘 《山里に咲く》1976年

収蔵品展
海野光弘 私だけのこの一枚

9月16日(土)ー12月10日(日)

両手で抱えられないほど大きな作品から掌に乗る小さな作品まで、作風も異なる魅力満載の作品を一堂に展示します。あなたが家に持ち帰りたい一枚はどれ？



海野光弘 《近い秋》1976年

収蔵品展
海野光弘×民俗資料室 海野さんが描いた道具たち

12月16日(土)ー3月24日(日)

背負子、蓑、笠、杵、臼、灰かきなど、昔の生活道具が描かれたどこか懐かしい版画と、道具の実物が同時に並びます。博物館分館を丸ごと楽しんでください。



海野光弘 《夫婦笠》1976年

開館日カレンダー
2023.4 April - 2024.3 March

4 April							5 May							6 June							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1	①	2	3	4	⑤	6							1	2	3
2	③	4	5	6	7	8	7	⑧	9	10	11	12	13	4	⑤	6	7	8	9	10	
9	⑩	11	12	13	14	15	14	⑮	16	17	18	19	20	11	⑫	13	14	15	16	17	
16	⑰	18	19	20	21	22	21	⑲	22	23	24	25	26	27	18	⑲	20	21	22	23	24
23	⑳	24	25	26	27	28	29	28	⑳	30	31	25	⑲	26	27	28	29	30			
30																					

7 July							8 August							9 September									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
						1					1	2	3	4	5							1	2
2	③	4	5	6	7	8	6	⑦	8	9	10	11	12	3	④	5	6	7	8	9			
9	⑩	11	12	13	14	15	13	⑭	15	16	17	18	19	10	⑪	12	13	14	15	16			
16	⑰	18	19	20	21	22	20	⑲	22	23	24	25	26	17	⑱	20	21	22	23				
23	⑳	24	25	26	27	28	29	27	⑳	29	30	31	24	⑲	26	27	28	29	30				
30	①																						

10 October							11 November							12 December								
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
1	②	3	4	5	6	7					1	2	③	4							1	2
8	9	⑩	11	12	13	14	5	⑥	7	8	9	10	11	3	④	5	6	7	8	9		
15	⑮	16	17	18	19	20	21	12	⑬	14	15	16	17	18	10	⑪	12	13	14	15	16	
22	⑳	23	24	25	26	27	28	19	⑲	20	21	22	23	24	25	17	⑱	19	20	21	22	23
29	⑳	30	31				26	⑲	28	29	30	24	⑲	26	27	28	29	⑳				
													⑳									

1 January							2 February							3 March									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
													1	2	3							1	2
①	②	③	4	5	6	4	⑤	6	7	8	9	10	3	④	5	6	7	8	9				
7	8	⑨	10	11	12	13	11	⑫	13	14	15	16	17	10	⑪	12	13	14	15	16			
14	⑮	16	17	18	19	20	18	⑱	20	21	22	⑳	24	17	⑱	19	20	21	22	23			
21	⑳	23	24	25	26	27	25	⑲	26	27	28	29	24	⑲	26	27	28	29	30				
28	⑲	30	31										31										

- 休館日
- 博物館無料開放日 5/5(金・祝)こどもの日の集い 8/20(日)県民の日協賛 11/3(金・祝)ふじのくに文化財オータムフェア協賛 2/23(金・祝)富士山の日協力

表紙説明 海野光弘 《陣風》 1975年

佐賀県白石平野を題材にした木版画作品です。コの字形の屋根が印象的な二軒の「くど造り」の古民家や、その間を結ぶように伸びる白い道が作品に奥行きを与えています。強い風にふかれ、緑の田園が波打つ中を、帽子を押さえながら歩む人は、どこへ向かっているのでしょうか。その情景をほぼ真上から見下ろすように描いている視点もユニークです。

(収蔵品展「海野光弘 私だけのこの一枚」にて展示予定)

※都合により日程・内容等を変更することがあります。